

## 学生・院生の言語力と英語によるプレゼンテーション能力の向上プロジェクト

### Project for the Development of Students' Language Proficiency and their Presentation Skills in English



#### キャンパス英語イマージョン・ ルーム活動の継承

活動日・時間:原則として週二回、水曜日の午後と金曜日の4時間目後、それぞれ2時間

活動場所:第二人文棟一階セミナー・  
ルーム E

ピアサポーターの出身国

前期:スペイン、香港、ドイツ

後期:スペイン、ドイツ、米国

#### ↕国際学生シンポジウム International Students Symposium with Presentations by

- ・HKIE 香港教育学院
- ・AUE 愛知教育大学
- ・UEF フライブルク教育大学



#### 大学の国際化推進のための継続プロジェクト

本年度は、左記のルーティーンのイマージョン・ルーム活動及び下記の特別イベントを通して、学生・院生の「言語力」と「英語によるプレゼンテーション能力の向上」を図る研究に取り組んだ。

参加した日本人学生、ピア・サポーター及びその他の留学生にとって、キャンパス内で、バーチャルではない生の情報交換、実際に触れ合いながらの国際体験の場を継続して提供できた。

#### 本プロジェクトによる本年度開催の特別イベント

##### 国際学生シンポジウム

[6月4日]

テーマ:

教育と国民のアイデンティティー

##### 学術講演会

[11月29日]

テーマ:

世界各地における英語コミュニケーションの現状と課題

##### プレゼンテーション

[12月15日]

テーマ:

各国の歴史・伝統とポップカルチャー

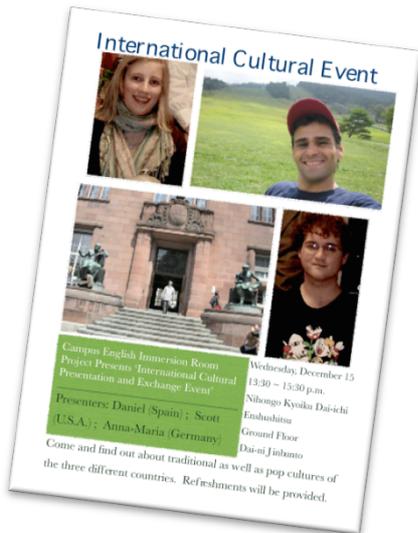


## 「教育と国民のアイデンティティ」

本学教授による基調講演，本学大学院生1名，香港の学生4名，ドイツの学生1名によるプレゼンテーション，英語による意見交換会を開催。

## 「グローバル英語について考える」

アラン・モーリー教授(英国リーズ・メトロポリタン大学)による講演会。国際共通語としての英語のグローバルな広がりの実態について，ここ20年間の世界各地(特にアジア)における言語状況の急激な変貌，人々の幻想，今後の展望について語る。国際共通語と地域語のバイリンガル話者が世界規模で増えている現状も紹介，質疑応



## 「各国の歴史・伝統とポップカルチャー」

スペイン，ドイツ，アメリカ出身の留学生によるプレゼンテーション。各国の歴史・自然・文化等の簡単な紹介の後，それぞれのポップカルチャーについて日本人の知らない興味深い話が次々と披露された。

参加者の声：

(1)活動場所のアクセスは便利で，参加しやすい。(2)部屋は参加者が10名を越えると狭くなる。(3)国際交流センターから学務ネットで流される広報，教員の勧め，友人からの口コミ情報は宣伝効果がある。(4)英会話の練習のできる授業がほとんどないので，貴重な時間である。(5)開催日，時間について，クラブ活動や就職ガイダンスと重なることが多いので，より頻繁な開催を希望する。(6)日本人と話ができて楽しい(留学生)。

### 今後のさらなる活性化のために

2年間にわたるパイロット・プロジェクトを通じて，英語イマージョンルーム活動が，日本人学生と留学生との有意義な意見交換・交流を推進し，参加者の言語力と英語によるプレゼンテーション能力の向上にとって効果的な事業であることが検証された。今後は，プロジェクト経費による研究という形ではなく，できれば，国際交流センターの事業の一部として運営されるのが望ましいと考える。

